

コンクリート用ステーションとは

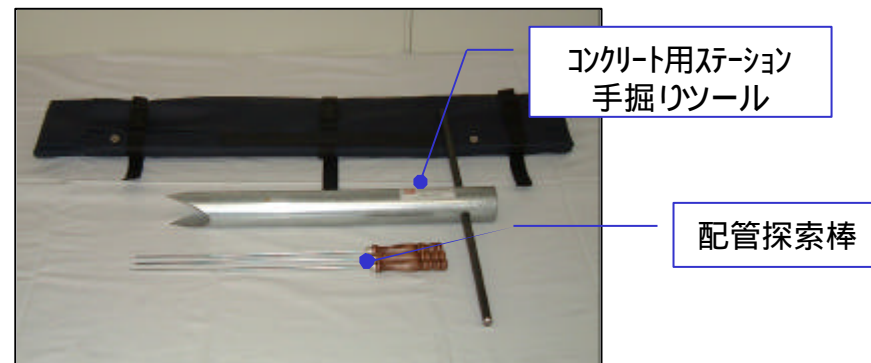


建物の周りがコンクリートやアスファルトなどで覆われている物件でも、割れ目・つなぎ目などの隙間から、シロアリの活動（群飛、食害）が見られます。

- コンクリートやアスファルト部分で、ディフェンダーの設置が困難な場合は、コンクリート用ステーションがご使用いただけます。
- 土壌部分、コンクリート部分が混在する場合には、ディフェンダーとの併用が効果的です。

設置作業に必要な道具

- ダイヤモンドカッター
- コンクリート用ステーション手掘りツール
(取扱: 鵬図商事)
- ハンマー (手掘りツールには入っておりません)
- 土入れ用具 (掘り取った土を入れるもの)
- スコップ
- 火箸
- メジャー
- 配管探索棒 (取扱: 鵬図商事)
- マジック
- 手袋 (軍手など)
- ラジオペンチ
- シリコンコーキング
- 刷毛



コンクリート用ステーション設置 ーコア抜きー

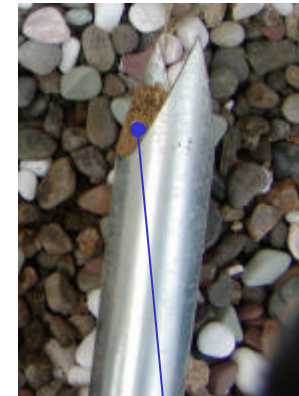


- ダイヤモンドカッターで、直径65mmの穴をあけます。

コンクリート用ステーション設置 ー穴掘りー



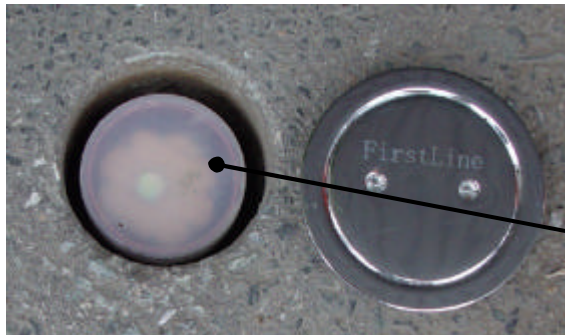
コンクリート用ステーション
手掘りツール



引き抜くと土が取り除けます。

1. コア抜きした穴から、火箸などでぐり石を取り除きます。
2. 配管探查棒などを掘る場所の土中に差込み、配管の有無を確認してください。
3. コンクリート下の、土を約20cm掘り取りります。
4. ホルダーは直径が50mmですので、コンクリート用ステーション手掘りツール(50mmパイプ等)を金槌等でコンクリート穴の底部から土の中へ打ち込み、中の土を取り除いて設置します。

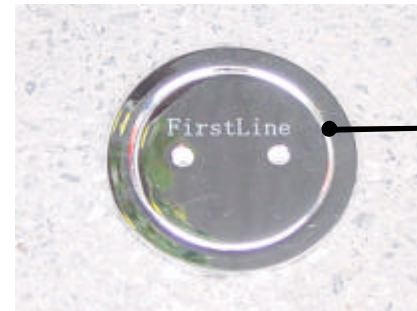
コンクリート用ステーション設置 —ホルダー、餌木、点検用フタ設置—



餌木+
ホルダー



1. 開けた穴に、コンクリート用ステーションを埋め込みます。
2. 餌木をステーションに設置します。
3. 点検用フタをシリコンコーキングなどを使用して接着します。



コンクリート用
フタ



ワンポイント

ヒットした場合は、餌木を抜き易くするために、ステンレス針金をモニター餌木上部の釘に巻付けて設置します。先は輪を作って引き抜く時に、抜き易いようにします。(内蓋を設置出来る場合は、蓋の中心部に小穴を開け、針金を通しておきます。)



コンクリート用ステーションでの モニタリング、ベイツィング



基本的には、ディフェンダーと同じですが、以下の手順で行います。

- ラジオペンチなどで点検用フタを開けます。
- 餌木を引き出し、シロアリの活動状況をチェック後、餌木を戻します。
- ベイト剤は、餌木を抜き取り、ステーション内に投入します。
- 入り口付近の砂・土などを刷毛で取り除いて、点検用フタを閉めます。